

昨日のあなたは前夜の雪をまとって目を見張るような美しさでした。あなたがよく見えるお気に入り場所に停車して見えなくなるまで、そのお姿を眺めておりました。

なぜ二十五才の娘が天に召され五十六才の自分が生きているんだろう。いつそ娘のところへ行こうと思ったり……。が、健康な私をうらやましがっていた娘に合わせる顔もなく実行できずにいます。

そういえば、二十年前、夫と娘の三人で雄山に登山した事がありました。娘がまだ保育園の年長で心配で保育士に相談すると

「年長さんでも何人か登山しているので、あかねちゃんもきつと登れますよ」と、笑顔で背中を押してもらえたことを昨日のことにように思い出します。

八月の最後の土日。夫の塾の夏期講習が終わり、ようやくとれた休みでした。以前から夫と娘を立山へ連れて行きたいという想いがなくなって、ワクワクしていました。

朝に弱い私達家族は出発もゆっくりで、午前中に登山した人達が下山して来る頃から登り始める始末。最初は張り切って登っていた娘が、頂上手前で

「もう登れん……」

と泣き出し、座り込んでしまいました。夫も私もヘトヘトで、娘を背負う元気もなく途方に暮れている所に中高年の男女のグループが下山して来ました。泣いている娘を見るやいなや

「お嬢ちゃん、どうしたがあ？ もうちよつとで頂上やよ。このアメでもなめら

れ」

「高山病になったが？ この酸素吸うか？」

と、寄つてたかつて娘をばげまし始めました。人見知りの娘は、涙も引っ込んで一目散で逃げるように頂上目指して駆け登って行きました。

「頂上、ガスかかつてひとつも景色見えんちや。あんたらち、今から登っても駄目やろうねえ〜」

と、笑いながら下山していかれました。せつかくここまで来たし、見えなくても頂上まで行こうと気を取り直して、再び登り始めました。

ようやく頂上に到着。すると今まで白くガスがかかっていたのが、うそのように山や青空が見えました。気付いたら鼻の頭が日焼けで真赤。汗だくで登ってきた体に心地良い風が吹き抜けました。雄山の社やしらにお参りして、ゆっくり下山してきました。

宿の夕食の時、食堂の壁の「生ビール」の文字にくぎづけの私。一杯八百円もするし……と迷っていると夫が

「生ビール飲むか？」

「八百円もするし、一杯を二人で半分こしようか……？」

「こんな所まで来て、せつかくやし二杯頼もう」

と決まり注文。真っ白にくもったジョッキから一口飲んだ瞬間、今まで飲んだどんなビールよりも美味しく感じたのは、登山だけが理由ではなかったのだと、今ならよく分かります。

五人姉妹の長女で、いずれは跡とりと育てられ自由気ままだった私。結婚しても何も変えようとせず、悪いのは結婚を勧めた父母、不幸になったのは夫のせいとずっと誰かのせいにしてきました。娘が生まれて母親になっても、早くこの子

が大きくなつて手が離れたら、好きな事を思い切りやれるのにと思っていました。

今、こうして娘が天に召され、母親や祖母という役割は自然消滅してしまいました。念願の自由になれても少しも嬉しくなく、一体、私はどうしたら幸せなのかと初めて、自分自身の人生を見つめ直しています。

そんな時、あなたの姿がふと目に止まりました。いつも変わらず、ただそこに居てくれる。居るのが当たり前になり過ぎて気付かなかった大きな存在。

まるで今は亡き父のようです。今の私を見たら父はどんな言葉をかけてくれるだろう。いつも調子にのっている私に

「潤子、自重やぞ、自重」

とくり返していた父の声が聴こえます。孫のあかねがそちらに行つて驚いているでしょうね。

そう言えば、立山登山も父がきっかけでした。青年団の皆で立山美化行進して楽しかったと聞いて、私も青年団に入り美化行進にも参加し続けました。這松はいまつの根元に隠すようにタバコの吸いガラが捨てられていました。

ある年は悪天候で室堂ターミナルから動くことが出来ず、翌日の美化行進も中止でがっかりして帰ってきたこともありました。雨風で立っているのがやつとで気を抜くと飛ばされそうになります。カップのフードがバタバタと耳元でうるさいくらいで、友人のかぶっていたぼうしも、あつという間に彼方へ飛んでいってしまいました。

ある年の美化行進の閉会式で苗木が配布されました。

疲れていた私は、家の玄関に放置して苗木があったことすら忘れていました。結婚して娘を連れて帰省していた時、洗たく物を干しながら、ふと、そばの大

木が気になり父に言うと

「おまえが、玄関にほつぽりつけていた苗木、お父さんが植えといたがやぞ。はや、こんなに大きくなって……」

いつも誰かの見えない力に支えてもらってきたのですね。

あなたが私達をいつもあたたかく見守ってくれているように。

私達もいつもあなたを見守っています。いついつまでも変わらぬ姿で、そこに居続けて下さいね。